



主催:公立鳥取環境大学地域イノベーション研究センター



令和7年度 公立鳥取環境大学地域イノベーション研究センター シンポジウム

「とっとりブランド」入口から出口まで ～フードシステムの現状とこれから～



日時

令和8年
1月8日(木)
13:20~17:00

会場

公立鳥取環境大学
本部講義棟11講義室

参加申込はこちら



詳細は大学HPへ



★会場参加、オンライン参加
いずれも申込必要です。

★オンライン参加ご希望の方
は、HP内のURLから
ご参加ください。

プログラム

13:20 開会挨拶

司会:公立鳥取環境大学 地域イノベーション研究センター
センター長 吉永 郁生

13:25 第一部 研究発表(各20分)

「鳥取県内生産者と共に創する食材価値とその発信」

公立鳥取環境大学 環境学部 准教授 山本 敦史
(令和6・7年度特別研究費助成採択者)

「有機質肥料を連用した水田土壌における土壌溶液を
介した水稻の土壌窒素吸収過程」

公立鳥取環境大学 環境学部 准教授 角野 貴信
(令和6・7年度特別研究費助成採択者)

「鳥取県の6次産業化企業を核とする地域活性化の可
能性」

公立鳥取環境大学 経営学部 准教授 山口 和宏
(令和6・7年度特別研究費助成採択者)

休憩(15分)

14:40

第二部 話題提供

司会:公立鳥取環境大学 地域イノベーション研究センター
地域連携コーディネーター 木嶋 哲人

- ①「選ばれる農産物の生産・流通の推進に向けて」
鹿児島大学 農学部 農業市場学 教授 豊 智行 氏
- ②「『大山ブロッコリー』消費地から選ばれる産地として
価格訴求からこだわり訴求への取組」
鳥取西部農業協同組合 営農部 次長 野口 和弘 氏
- ③「大山ブロッコリーのブランディングにおける生産
現場での取り組み」
株式会社andAgri 代表取締役 林原 正之 氏
- ④「現場から見たとっとりブランド」青果仲卸が語る
フードシステムの今と未来」
タカサカ青果株式会社 営業部 課長 近藤 亮 氏

15:55

パネルディスカッション

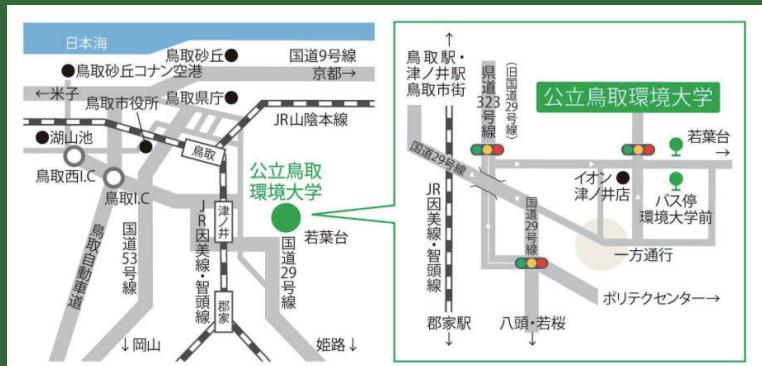
「消費者ニーズと生産体制の現状と
これから」

16:55

閉会挨拶(～17:00終了)

司会:公立鳥取環境大学 地域イノベーション研究センター
副センター長 倉持 裕彌

【アクセス】(〒689-1111鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号)



【会場案内(鳥取駅から本学まで)】

◎鳥取駅からバスでお越しの方(本学まで約20分)
鳥取駅(鳥取駅バスターミナル7番乗場)

【アクセス】

【バスキタ!とっとり】
(バスロケーションシステム)



【お問合せ先】TEL:0857-32-9105

E-mail:torc@kankyo-u.ac.jp
(地域イノベーション研究センター)